

平成29年度

平成29年 10月31日 11月号 (第503号)

学校だより



横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

おこやかスマイル おすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

11月



「通じる心」

校長 三橋 国雄

週末に2週間続けて台風が来るなど今年は雨が多いなと感じるこの頃ですが、その影響を受け6年生が参加する横浜市立小学校体育大会が10月17日(火)から11月13日(月)に延期になってしまいました。気持ちを切り替えてがんばって欲しいと思います。また今年は青葉区の代表として11月11日(土)に行われる市球技大会(サッカー)に参加できる年なので、5・6年生の希望者が朝の練習に励んでいます。4年生のみなさんは11月8日(水)青葉区公会堂で行われる青葉区児童音楽会に向けて練習を繰り返しています。高学年になるとこのような対外的な行事も多くなってきますが、得意なこと苦手なことは、それぞれにあることと思います。ただ思うことは小学生の今だから経験できることをたくさん経験させてあげたいということです。

日常を過ごすとき、やらなくてはいけないことをやらなかったとしても、今はそれほど困ることはないでしょう。しかし、それが、何時かは定かではないながら、「今」やらなければいけないことをやらなかったために、解らなかつたり、できなかつたりして困るときが来ると思います。

今やらなくてはいけないことを、解らない、難しいからいやだな、めんどくさいと思いつつもやっている人は、やっていてよかったと思うときがあると思います。

子ども達は、今は小学生。義務教育の9年間のうちの6年間を小学校で過ごします。この6年間の学びを積み残して次の中学校での3年間を過ごすことは、相当な努力を要することになると考えられます。そのことに、そうなる前に気が付けることが大切です。そのために学校があります。教室があります。そして家庭があります。

教師は「今」やらなくてはいけないことをこつこつと積み重ねることの大切さを、いろいろな伝え方で伝えていきます。そして、ご家庭の協力の必要性、大切さを思います。今やらなくてはいけないことは、親が心を鬼にしてでも取り組ませていただきたいと思います。学校で教師が「何が何でも」と無理やり取り組ませることが難しい世の中だからです。保護者の方と何が必要であるかを共有することができたら、きっと教師の思いも子どもたちに伝わるのではないかと思います。

「威厳」とはなんなのでしょうか? 「昔の先生は怖かった。」 「昔親父は怖かった。」 「悪いことをすると、ものすごく怒られる。」 「罰を与えられる。」 だから昔の子ども達は先生や親父の言うことを聞いていたのでしょうか? 決してそれだけではないはずです。そこには「通じる心」があったのではないのでしょうか。

保護者の方と教師との関係が、一緒に子どもの教育を考えるという方向性を同じくしたものであること。そして、教師にまかせるところ、保護者の方にまかせるところをお互いが理解し合っていることが大切なのではないかと思います。そして、保護者の方は子どもの前で教師の悪口は言わない。担任が若い先生なら人生の先輩である親が教師を育てることもある。教師と親がそんな関係を築ければ、子どもたちも安心して学校で過ごせると思います。また、保護者の方も安心して学校に通わせることができるでしょう。教師も三者の関係性を深めながら教育活動に専念できるでしょう。お互いが尊重し合いながら子どもの成長にかかわることで、教師と保護者の方の思いが子どもたちにしっかり伝わるのではないのでしょうか。

まず、私たちがしっかりと向き合い、同じ方向を向いて行動に移すことから、ご一緒に進めていきたいと思っています。今月も変わらぬご支援ご協力をお願いします。